

高き志【こころざし】

家庭学習充実週間

「早く勉強しなさい！」 「宿題は終わったとね？」

このような言葉ほど、子どもたちが聞きたくない言葉はないと思います。私自身も子どもの頃、「宿題しなさい」と言われ、「しなくてはいけない」と思っていた時にいつも言われるので、「今、しようと思っと思ったのに！」と言い争いになってしまうことがよくありました。

高木小学校では、当然のことながら「確かな学力の育成」を教育活動の三つの大きな柱の一つに位置づけています。さらに今年度は、「家庭学習の習慣化と充実」を重点的な取組と位置付けています。重点的に取り組みたいのは「宿題」ではなく「家庭学習の習慣化と充実」なのです。

なぜ「家庭学習」という表現になっていて、「宿題」でないのかは多分お分かりいただけると思います。ここで言う「家庭学習」に、当然「宿題」は含まれていますが、それだけではないのです。宿題以外に含まれているのは主体的な学習です。学校では「自主学習(自学)」と呼ぶことが多い学習です。私は、自ら考え判断し行動する力を育てることと関連付けながら、やらされる学習ではなく、主体的な学習に家庭でも取り組めるようになってほしいのです。その学習を「確かな学力の育成」の枠を超えたところでとても大切に考えているのです。

もちろん、低学年(1、2年)の子どもたちにはまだ難しいことなので、低学年の子どもたちは、毎日しっかりと宿題に取り組み、家庭で学習する習慣を身に付けつつ、できる範囲で自主学習に取り組めます。そして、3年生以上は宿題だけではなく、自主学習に積極的に取り組んでほしいと思っています。11月は学力充実月間です。その一環として、来週を「家庭学習充実週間」と設定し、御船町で統一して決めている学習時間(1年生:35分、2年生:40分、3年生:45分、4年生:50分、5年生:55分、6年生:60分)を達成する中で、自主学習(予習や復習、読書、自分で取り組んでみようと思った課題)が充実するよう学校で確認・支援をしていきます。

5・6年生の「自主学習」としては、次のような良い例があります。

- ・クラスみんなのいいところを文章にして書いてみる。
- ・英語の学習として、クラス全員の名前をアルファベット(ローマ字)で書く。
- ・自分の好きな本の紹介や読んだ本の感想を書く。
- ・国語で学習した詩人の別の詩を視写する。

これらの良い例を示しながら、「やらされる学習」を少しでも「自分のために主体的に取り組む学習」に変えることができると考えています。学級によっては、子供たちが取り組んだ自主学習を教室の壁面に貼ってあったり、参考になるような自主学習があったらすぐに紹介したりする取組が行われています。

これらの状況をご理解いただき、ご家庭でも子どもたちに励ましの声を掛けていただければと思います。

自主学習については、宿題さえも全員提出が揃わないという状況はありつつ、それができてから充実させようとしたらいつまでたっても始められない、という現実がある中で取り組んでいます。ですから、1人でも2人でもいいので、主体的に学ぶことの大切さや有効性に気づく子が現れ、その輪が少しずつ広がればと思っています。

「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する力」。何度かお伝えしております、学校として育みたい資質・能力の筆頭「自律(立)」の力。これらの力を身に付けるため、「確かな学力の育成」の枠を超えた取組として、家庭学習充実週間で終わることなく、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っています。

そして、冒頭に書いた私の体験のような場面が、各御家庭からなくなればいいなと願っています。